

若い力どう貢献

富士宮高校会議所で学ぶ

静岡

福島民報社が委嘱した平成二十八年度「ふくしま復興大使」の静岡班は十九日、静岡県

富士宮市で高校生が地域おこしに取り組む「富士宮高校会議所」の活動を学んだ。

土宮市の西町レトロ館で開かれた同会議所の定例会に参加した。同会議所は若い視点を生かして地域に貢献しようとして二月に発足し、現在は市内六高校の生徒十三人が所属している。毎月一回の定例会で意見を交わし、フリーマーケットへの出店、地元経営者との懇談などの活動を展開している。



ふくしま復興大使国内訪問

復興大使は吉田智美さん（四ノ宮町、広野中二年）、遠藤菜さん（七ノ宮市、会津若松ザベリオ学園高二年）、根本菜実さん（七ノ宮市、須賀川高二年）の三人。同行した福島民報社いわき支社の吉田順生営業部長らとともに、富

士宮市の西町レトロ館で開かれた同会議所の定例会に参加した。同会議所は若い視点を生かして地域に貢献しようとして二月に発足し、現在は市内六高校の生徒十三人が所属している。毎月一回の定例会で意見を交わし、フリーマーケットへの出店、地元経営者との懇談などの活動を展開している。



富士宮高校会議所の生徒と交流する復興大使の（右から）吉田さん、遠藤さん、根本さん

初代会頭の飯島大さ
ん（九ノ宮市、静岡大農学部）は復興大使に「若い力で世界遺産のまち、富士宮の魅力を高め、発信していく」と語っ

た。復興大使一人一人が本県の復興状況や学校生活の様子などを説明した。復興大使は十八日から富士宮市に滞在し、二十日に帰福する。

ふくしま復興大使

静岡班

（敬称略）

吉田 智美 14

広野町、広野中2年

遠藤 菜 17

会津若松市、
会津若松ザベリオ
学園高2年

根本 菜実 17

須賀川市、
須賀川高2年